



長盲120周年記念通信

NO.4

令和2年9月25日

長野盲学校

120周年記念事業実行委員会

2学期がスタートし、あっという間に9月も下旬です。

2学期は、行事がたくさんなのですが、とりわけ大きな行事といえば菊花祭です。

本来は、菊花祭に続いて、創立120周年記念式典を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、来年度に延期となりました。

それでも、120周年は「今でしょ!」(今年でしょ!)という思いも強く、10月3日の菊花祭開会式の中で、短時間ですが「120周年をお祝いする会」を開催することになりました。また、前日のミニ運動会も、当日の菊花祭も120周年の年らしく、楽しく盛り上がる内容をと準備を進めています。いつもとは違った生活様式の中での開催となりますが、みなさんの思い出に残る行事にしていきたいと思います。



長盲ワンコ3大衆

長盲に深く関わりのある犬が3頭います。紹介します。

最近デビューしたのは120周年記念事業で誕生した「ぶれい

る」です。数多くの応募の中から、デザインは小池桃子さん(高等部3年)、名前は高梨祥平さん(高等部2年)のアイデアが選ばれました。寄宿舎の太鼓同好会Tシャツをはじめ、来年度の全国フロアバレーボール長野大会のTシャツなどにも採用予定です。末永くかわいがってください。

右の写真のラブラドル(写真画)は、行事などの時に体育館ステージ壁面に登場するお馴染みの犬ですね。名前は「チャールズ」です。5年ほど前まで本校に勤務していた木暮恒男先生の盲導犬です。当時は、木暮先生と一緒に登校すると、理療科職員室に入ってすぐ右側の定位置で一日を過ごしていたそうです。



左の写真のラブラドル(彫刻像)は校舎内のどこに
いるでしょうか。

毎朝、玄関で私たちの登校を迎えてくれている「フリサ」です。昭和55年に県内2番目、北信では最初の盲導犬として、当時勤務していた坂本先生と一緒に登校していたそうです。像は黒色ですが、実際はイエロー(白系)だったそうです。触ってみてください。

